



## 港南台・野鳥の小径を散策

本郷ふじやま公園古民家歴史部会 神田 恵仁

実施日:令和 4 年 6 月 1 日(水)

集 合:JR 港南台駅改札口

解 散:JR 港南台駅

行 程:港南台駅→ひばり団地入口→環状3号線→ひよどり団地→さえずりの丘公園(昼食)  
→港南台公園→港南台駅(解散)

### 港南台駅

当初の計画では JR 根岸線は当駅 500mの南方を通ることになっていたそうです。また、当駅の設置も計画にはなかったようです。しかし、住宅地として開発していた日本住宅公団との話し合いの結果、ルート変更と駅の設置が決まりました。開業当時の所在地は港南区日野町であったため、建設中の仮称は「湘南日野駅」とされていました。

最終的には、区画整理事業者(日本住宅公団)が、駅周辺を『港南台』の名で開発したのでその通称から「港南台駅」が採用されました。

(昭和 41 年 3 月提出の『根岸線延伸路線の駅設置について』より)

「港南台駅」の開業当時(昭和 48 年)は乗車客約 4 万人でしたか、現在は 3 万人強と少子・高齢化の影響を受けているようです。

ちなみに現在の洋光台駅、本郷台駅はそれぞれ「矢部野駅」、「新大船駅」の予定でした。

### 港南台の団地名

この団地の名称は「めじろ」「かもめ」「つぐみ」などと小鳥の名前が使われています。

開発前、この周辺は数多くの野鳥のさえずる雑木林の丘陵だったことから、命名されたのでしょう。命名者は他界し、記録もないことから正式には分かりません。(UR の担当者)

「チドリ」・「カモメ」・「メジロ」・「ヒヨドリ」・「ヒバリ」・「セキレイ」・「ツグミ」・「コマドリ」・「ウグイス」、これは私が地図帳等で見つけた

野鳥の名の付く団地です。もっとほかにもあるかもしれません。

初めの2団地「チドリ」「カモメ」は賃貸で、他は分譲のようです。つまり、「水鳥」は賃貸、「山鳥」は分譲ということになります。

### 港南台バース

「バース」は開業(1976 年)の際に一般公募で採用されたもので、周辺にある団地が「ひばり団地」や「かもめ団地」など鳥の名に由来していることから、名づけられたものです。

「バード」ではなく「バース」(birds、鳥の複数形)にしたのは、なかなか洒落ていると、私は感じています。

### 港南台高島屋

1983 年地元密着型店舗として開業した「港南台高島屋」が今年8月に閉店することになりました。普段は、スーパーやコンビニでの買い物がほとんどの我が家も贈答品の購入はこの高島屋です。また、地階の食品売り場も大のお気に入りでした。残念です、寂しいです。

跡地に何ができるか、私は知りませんが、港南台を活気づけるものができることを期待しています。

令和2年2月記述

「野鳥の小径を歩く」は令和 2 年 3 月実施予定でしたがコロナ禍で中止となり今回、実施することになりました。



# 第151回 古民家歴史探訪 (栄区周辺散策)

港南区編 野鳥の小径を歩く 2022年6月1日実施

